

2025年4月開設

認可
決定

新研究科が誕生

群馬大学大学院

食健康科学

Graduate School of Food and population Health Sciences, Gunma University

研究科

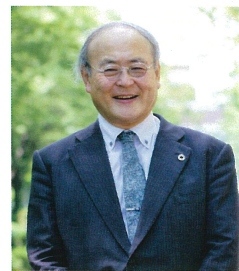
修士課程

食から極める。

食からはじめる、

Message 学長あいさつ

群馬大学長 石崎 泰樹



群馬大学は大学院食健康科学研究科を設置し、群馬県の産業の強みと群馬大学の研究の強みを活かして、食の視点から環境・社会・人の健康を目指す科学によりイノベーションを創出し、地域及び地球規模での健康で幸福な社会の実現を牽引します。

群馬県の産業構造は、食料品関連産業が輸送機器関連産業に次いで製造品出荷額第2位を占めており、農産物や畜産物という地域資源を活かした地元の食品製造業が活躍しています。一方で、群馬大学の研究の強みの一つは、異分野融合の「食健康科学教育研究センター」です。このセンターでは、群馬大学の理工学府、医学系研究科、保健学研究科、共同教育学部、医学部附属病院、生体調節研究所に所属し、それぞれの領域の最前線で活躍する教員が、食健康科学を基軸として研究を

進めています。以上のような群馬県の産業の強みと群馬大学の研究の強みを活かし、群馬大学は食健康科学研究科において、食品科学、食品生産工学、医科学、保健学、環境科学を基盤とする、食健康に関する高度な科学リテラシーを身に付け、産業振興や健康長寿社会を創出するグローバル人材を育成します。本研究科に入学し、あなたの力を明るく未来づくりに活かしてみませんか？



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

国立大学法人群馬大学

育成する人材像

食健康科学研究科は、食を通じて健康を科学することや食に関わる健康増進に関する研究、食の生産・流通・消費に関わる環境の健全性や社会の健全性の維持・強化に取り組みます。学部教育によって培われた個々が有する保健学、食品科学、食品生産工学、環境科学に関する専門性を基盤に、食品工学から健康科学にまたがる横断的な高度専門知識を身に付けることで、人類の健康向上、脱炭素社会の実現等の世界規模の課題解決や、高付加価値食品の開発等による地域の産業振興に資する人材を養成します。

●開設授業科目

必修科目 (選択必修を含む)		選択科目
大学院共通科目 (必修)	(必修) ● Research Skills-Presentation and Writing 効果的なプレゼンスキルとライティングスキル ● レギュラトリーサイエンス概論 (選択必修) ● Pythonによる数理解析 ● 画像処理と実践応用演習	(A) 食品工学系 ● バイオプラスチックデザイン工学特論 ● 食品化学工学特論 ● センサ・電子計測特論 ● 食品・生物工学特論 ● 環境分析科学特論 ● バイオプラスチック特論
必修	● 食健康科学概論 ● 食健康科学特別実験 ● 食健康科学特別演習	(B) 健康科学系 ● 栄養生理学特論 ● アグリフーズ・バイオ特論 ● 健康栄養特論 ● ヘルスサイエンス特論 ● 予防医学特論
選択必修	● 実践食品イノベーション特論 ● 食品科学特論 ● 食品生産工学特論 ● 食健康医科学特論 ● バイオデータ解析・統計特論 ● 食健康科学ティーチング実習	インターンシップ ● インターンシップ I ● インターンシップ II ● 国際インターンシップ I ● 国際インターンシップ II

修了後の主な進路

大学・研究機関、公官庁、自治体、製造業、食品産業、医療機関、製菓業、医療機器メーカー、農協、農業法人、農業関連企業など

食健康科学研究科入学試験イメージ

理工学府受験者

医学系研究科受験者

保健学研究科受験者

一般受験者

推薦入試

夏期入試

各研究科合格

食健康科学研究科受験

食健康科学研究科入試 (各研究科合格者・一般受験者)

2024年内実施

※各研究科合格者は検定料免除

食健康科学研究科合格

食健康科学研究科入学